

教材4-(4)ワークシートの解説

健康な生活や良好な生活かん境を守るためのしよ活動

あるクラスで、「わたしたちの使う水」の学習をふり返り、限りある<sup>かぎ</sup>資<sup>し</sup>げんである水の使い方について話し合いました。

「これから自分たちにできることは何か」について、下の4人の話し合いに加わるとしたら、あなたはどのような意見を発表しますか。「わたしの考え」のらんに書きましょう。

わたしたちの生活にとって水が大切な資<sup>し</sup>げんであることが分かりました。

これからは、おふろの残り湯は、せんとくや花の水やりに使うなど、できるだけ水をむだにしないように、使い方を工夫したいと思います。

わたしたちが安心して水道水を使えるのは、ダムやじょう水場などのし<sup>せつ</sup>設で、たくさんの人が働いてくれているからだということが分かりました。

これからは、水道水を使うときには感謝<sup>かんしや</sup>して大切に使いたいと思います。



実際に調べてみて、自分の家ではどのくらい水道水を使っているのかが分かりました。

これからは、今までと<sup>くら</sup>比べて使いすぎているか点検<sup>てんけん</sup>をすることで、節水に心がけたいと思います。

ダムやじょう水場など、水道に関係するし<sup>せつ</sup>設を作るために、多くの<sup>お</sup>金や広い土地が必要だということが分かりました。

これからは、たくさん水道水を使って、できるだけ多くの料金をはらうことで協力したいと思います。

わたしの考え

(例)かぎられた資<sup>し</sup>げんである水を、安心して利用できることに感謝したい。

さらに学習を深めよう

水道水がどのようにして、わたしたちの所までとどくかをまとめましょう。

- ・さまざまなし<sup>せつ</sup>設で働いている人の工夫や願いも入れてみよう。
- ・「気づいたこと」「自分の考えの変化したこと」も入れてみよう。

さらに学習を深めよう

節水をよびかける方法を考えましょう。

- ・何を中心に伝えと、こうかてきかな？
- ・どのような資料を準備するといいいかな？